

## 日本物理学会領域2役員会 議事録案

日時: 2022年9月10日(土) 17:00-18:00

Zoom オンライン開催

司会: 領域2代表 千徳、参加者13名、書記: 沼田

### 報告・議論事項

- 1) 2022年10月からの役員体制・役割分担
- 2) 2023年4月からの領域代表, 副代表の推薦
- 3) 第77回年次大会(2022年春) 学生優秀発表賞に関する報告
- 4) 米沢富美子記念賞 受賞候補者の募集について
- 5) 2023年春季大会 シンポジウム・招待講演等の提案
- 6) 領域委員会報告
- 7) 領域2での確認事項と議題
- 8) 講演件数の推移
- 9) 講演概要集提出率
- 10) その他

### 報告・議論内容

- 1) 2022年10月からの役員体制・役割分担

下記体制を承認した.

領域代表	千徳 靖彦 (大阪大学)
領域副代表	藤堂 泰 (核融合科学研究所)
領域副代表	稲垣 滋 (京都大学)

運営委員(藪内, 四籠, 齋藤, 佐々木, 三瓶, 菊池)、役員(本島, 相羽, 福田)

2023年10月からの次期役員候補 年内まで立候補待ち(領域代表まで連絡)

2023年春季大会運営会議で審議

- 2) 2023年4月からの領域代表, 副代表の推薦

2023年4月からの役員体制を承認した. 10月下旬までに物理学会に推薦書提出, 11月領域委員会において承認予定

次期領域代表	藤堂 泰 (核融合科学研究所)
次期領域副代表	長崎 百伸 (京都大学)

- 3) 第 77 回年次大会 (2022 年春) 学生優秀発表賞に関する報告  
28 名の応募者から、以下 5 名を選出。なお、2021 年秋季大会から受賞回数の上限が 2 回までとされた。

- 梅崎 大介 氏 (九大院工)  
「ダイバータプラズマにおける大角度散乱を利用した粒子輸送制御」
- J.J. Simons 氏 (SOKENDAI)  
「Evaluation of saturated absorption condition of hydrogen Balmer-alpha line due to laser pumping」
- 杉本 馨 氏 (阪大理)  
「相対論的レーザープラズマ相互作用における線形 Breit-Wheeler 過程による電子・陽電子対生成」
- 瀧澤 龍之介 氏 (阪大レーザー研)  
「超高コントラストレーザーによる核融合プラズマの加熱」
- 皆川 裕貴 氏 (日大生産工)  
「光渦レーザー吸収分光法における方位角ドップラーシフトの絶対値評価」

- 4) 米沢富美子記念賞 受賞候補者の募集について

領域 2 の締切：2022 年 10 月 21 日

提出先：領域副代表 藤堂

- 5) 2023 年春季大会 シンポジウム・招待講演等の提案

現在、企画講演、招待講演、シンポジウム 0 件。再度運営会議で周知する  
学会の公募受付は 10 月下旬締切

企画セッション 現在 1 件進行中

2021 年秋季大会より「トリガーを捉えるメタステート科学」

2022 年秋季大会での発表件数は 12 件。

2023 年春季大会まで 4 回。申請によりさらに 4 回の延長可能。

- 6) 領域委員会報告

オンライン開催の是非について

理事会からの提案があった「年 1 回対面、年 1 回オンライン」の方針が承認された。ハイブリッド開催は負担が大きいため行わない。春、秋いずれをオンラインとするかは未定。2023 年は春季大会、秋年次大会。

7) 領域 2 での確認事項と議題

以下の事項について再確認された.

- Plasma メーリングリストの運用
- 学生優秀発表賞
- 講演の英語対応
- シンポジウム, 招待講演
- シンポジウム等での online 登壇

領域で対応できるのであれば online 登壇は可能

- 物理学会一般共同研究費の使途

核融合研の一般共同研究に毎年申請している. 役員が定期的に集まって運営について議論する目的. 物品, 配布物への転用は不可. 今年度からは, 核融合研以外への旅費も可. 研究費の有効利用について引き続き検討する.

8) 講演件数の推移

一般講演 112 件

110 前後で安定はしているが, 今後増やしたい.

9) 講演概要集提出率

概要提出率は 107/112

今後も高い提出率は維持していきたい.

10) その他

懇親会は開催しない.

以上